

いのちの やさき

文・写真／宮崎雅子

分かちあう

闇のなか ランプの灯る部屋でふたりは寄り添う
深夜2時 だんだんと陣痛の感覚が短くなってきた
かすかな吐息が声になり高まってゆく
夫の胸に身体を預け 打ち寄せる波を共に感じながら
今 この瞬間を 夫婦で分かちあう
隣のベッドで眠っていた2歳と5歳の娘たちも目を覚まし
家族みんながそこにいることが なにより自然で
心地よかった
助産師の手に 柔らかな赤子の髪が触れる
さあ おいで ここに あなたを待つ人のもとに



みやざき まさこ 写真家。共著書に『いのちを産む』(学研), 写真集に『ベビーサイエンス』(メディカ出版), 『胎動』(ショパン), DVD『いのちの訪れ』(UTEKIANI)など。出産や赤ちゃんなどいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。